

< 検査内容変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記項目におきまして、検査内容の一部を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

《実施日》

2020年5月28日（木）受付分より

《変更内容》

項目コード	項目名	変更箇所	新	現	検査案内記載頁
303	TBG定量 (サイロキシン結合グロブリン)	項目コード	2907	303	67 (2019～ 2020版)
		項目名称	サイロキシン結合グロブリン	TBG定量	
		検体/保存	血清0.5 mL/冷蔵	血清0.2 mL/冷蔵	
		検査方法	CLEIA法	RIA PEG法	
		基準値	14～31 $\mu\text{g/mL}$	15.9～35.6 $\mu\text{g/mL}$	
		所要日数	4～6日	5～10日	

※現法と新法の比較については裏面をご参照ください。

●サイロキシン結合グロブリン(TBG)

non-RIA法によるサイロキシン結合グロブリン(TBG)の測定を受託開始いたします。

サイロキシン結合グロブリン (Tyroxine Binding Globulin:TBG)は、肝臓で合成分泌される最も重要な甲状腺輸送ホルモン蛋白質です。TBGは血中では、サイロキシン(T₄)、トリヨードサイロニン(T₃)の約70%と結合して存在し、血中半減期は約5日といわれています。TBG定量の測定は甲状腺機能及び甲状腺ホルモンの作用状態を知るために重要です。

●現法と新法の比較

[サイロキシン結合グロブリン]

